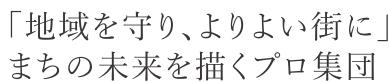
株式会社ョナゴ技研コンサルタント





■ 20代、30代の若手社員や、技術職に女性 社員の姿が多いのもヨナゴ技研の特色だ 2 建設業界では次々に新しいICT機器が登場。 最新の機器を積極的に導入し、測量ではドロ ーンなどが投入される。従来の測量方法と比 べて精密性、スピード性が格段に向上してい る 3 高精密な3次元測量にも注力。事前の 点検も綿密に行い、わずかな誤差も許さない 4 治山ダムや砂防えん堤の設計など災害を 防ぐための業務も担う 5 測量は、さまざま な工事の基盤となる、重要で責任の重い仕事 だ 6 社内は部署によってフロアが分かれて いる。設計部では構造物の計画設計から点 などの交通インフラをはじめ、さまざまな社 会資本を整備。定期的なメンテナンスで安全 にインフラを管理する 8 「建設コンサルタン トは、縁の下の力持ちのような存在」と胸を張















きました」と、鳥取県内各地で実

も〝地産地消〟

の流れが活発化





お重ねだ。技術士や測量士、RC 札制度改革で地元業者の受注機会 もちろん資格手当もつく。また、 合格時には報奨金も付

は40人にまで増えた。その躍進の背 泉にあるのが資格者の育成と実績の 創業時は3人だった社員は、今で

社ヨナゴ技研コンサルタント》の大 旧国鉄を退職した初代社長が、国有 5元企業の育成を念頭に、建設業開 心の線路と、隣接する私有地を分け かつては設計を大手コンサルタ) りを胸に熱心に語るのは《株式会 に任すケースがほとんどでしたが 000年代初頭からは入札から測 じまり。その後、設計の需要の高 ために測量する会社を興したのが 多更したのが1991 設計まで担うようになった。 更したのが1991年のことだ。を受けて現在の形に組織と名称

,サルティングするのが我々の仕事。 らしを支えるためにはなくてはな 築物のように目には見えにくいで が、地域の人びとの安全で豊かな 「建設に関わるあらゆる業務を する能力も問われる。 工程、品質の管理、 受注者に説 企画の構想

一設コンサルタントは、 いくために必要なインフラを整備 も異なるものを測る作業は、定規 ひと苦労だ。その上、ビルや家、 川など、大小さまざま、長さ高 ーで測るのとはわけが違う。 人が生活-

総合コンサルタントであり、高度

たけと侮るなかれ。現代のまちには 公共工事のレシピ、 を作る仕事 上にも地下にも多くのものがあふ する前段階の業務を担い、 文援する仕事だ。建設や整備に着 や測量をして設計図を作成し、最 権利関係を明らかにするだけで

対策などの「社会資本」と呼ばれる

215

る大西正人社長



株式会社 ヨナゴ技研コンサルタント

事業内容

建設コンサルタント(道路・橋梁・河川・港湾・上 下水道等公共事業の測量・設計)

創 業 昭和46 (1971) 年5月8日 代表者 代表取締役 大西幸人

社員数 41名 (男32名 女9名)

本 社 鳥取県米子市彦名町1460-4

電 話 0859-29-5321

採用エリア(勤務地)

米子市、鳥取市、倉吉市

採用担当者からあなたへ

弊社は地域に根付いた建 設コンサルタントの会社で す。私たちの仕事は地域 の『土台』をつくること。道 路·橋梁·河川·港湾·上下 水道等公共事業の測量 設計をしています。高度な 技術を身につけ、それを活 かした街づくりに一緒に取 り組んでいきませんか。



取締役 営業部長 今田 晴之さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0859-29-5321

採用直通 E-mail

ygc-human-resources-department@yonago-giken.co.jp





な地域づくりに復旧にも対応

献

その範囲は県全域約3 ルにおよぶ。 高度な知識や 経 受注

道路ののり面の崩れ も欠かせない存在だ。 は自然災害の増加に伴 ,桟橋の設計も手がけた。 湖山池の護岸や境港公 るが、 その復旧! や護岸浸食 道路や河 「地元住 時代の変化や

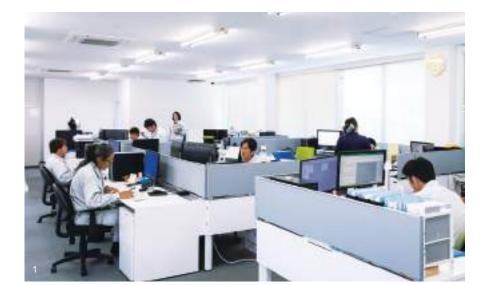
で防ぐための綿密な調査

るために見

来の測量

つどこで起きるかわからない 「災害

きやすい環境を整えて結婚・出産を 柔軟な働き方に対応 も長く働く女性社員も多 社員の平均年齢は40歳代 ことの大切 社員の要望 ゃ して地元住民を守る 日々進化し続け いのある仕事 誰もが







■ 建設コンサルタントの仕事は社内でデスクに向かう時間が長く、より良い環境で質の高いパフォーマンスを発揮 するため、4年前にオフィスをリニューアル。明るく開放的な空間だ 2 米子市にあるヨナゴ技研コンサルタントの本 社社屋 🔞 各フロアにあるソファスペースでは、社員が交流したり、リラックスしたりする姿も。高い技術力と提案力 を発揮するには、ひと息入れる時間も大切だ。

ヨナゴ技研はこんな会社!



営業部 課長 石賀 一成さん 2017年入社(7年目)



物づくりのスタートの、さらにスタートを担う

公共工事を担う建設コンサルタントの仕事の端緒は、入札による受注だ。近年は技 術力を審査する「プロポーザル方式」や、資格者の数や価格を審査する「総合評価 方式」による業者選定が増えている。石賀さんは自治体営業や、材料費や技術者な どの業務にかかる総合的な費用を算出する積算業務を担当。「私たちは技術を売って いる。資格者の数や実績、機器をアピールし、受注につなげています。わずか10円 の差が受注の可否を決めることもあるシビアな世界」と情報収集と研究、分析を欠か さず研鑽を重ねる。「我々がいなければ道路も橋も生まれない。スタートのスタート が私たちの仕事」と誇りを胸に、仕事にまい進する。



技術部 森田 なすみさん 2022年入社(2年目)





憧れの仕事で成長できる喜びを実感!

子育てがひと段落し、昔から興味があった設計の仕事に未経験から飛び込んだ森田 さん。「右も左もわからない中、ハローワークで『指導の環境が整っている』と勧め られたのがヨナゴ技研でした」と振り返る。現在は先輩社員の指導のもと、測量デー タをもとに道路や側溝などのインフラ設計に従事する。「仕事の緊張感が刺激になり、 できることが増えるのも嬉しい」と、真剣かつ楽しみながら仕事に取り組む。女性が 多く、風通しの良い雰囲気で働きやすさも実感。「未経験からスタートラインに立たせ てもらえたことにまず感謝しています。一人で仕事をこなせるようになり、資格取得 などで会社に貢献できれば」と成長を目指す。



測量部 岡野 雄士さん 2019年入社(5年目)





設計から測量へ!上位資格取得を目指しています。

ヨナゴ技研で働く同級生から会社の雰囲気や仕事内容を聞き、興味を持った岡野さ ん。「手に職をつけたい」という思いもあり、自動車営業の仕事から思い切って転職 した。3年間、設計部で働いた後、測量部へ異動。「設計を経験したからこそ、完成 形をイメージできる」と経験を生かし、新しい業務に奮闘する。プライベートでは2児 の父で、会社で初めて男性で育児休業を取得した。「時代に合わせて制度を取り入 れ、臨機応変に対応してくれて助かります」と喜ぶ。測量士補の資格を取得し、目下 の目標は測量士などの上位資格の取得。「業務を回し、頼られる存在になりたい」と 熱意を燃やす。



総務部 課長代理 角 麻里さん 2011年入社(13年目)





社員が長く働けるように考えてくれる会社です

「土木測量、設計のコンサルタント会社」と書かれた求人票を見て「設計、コンサ ルタントとは?」と事業内容に興味を持ち入社。「その仕事に直接携わらないにして も、近くで感じ、見てみたかった」と振り返る。営業事務からスタートし、現在は総務 部で主に経理や労務を担当。子育て中はパート社員として働き、2年間ほど離職して いた時期もあったが復職。2011年には正社員に復帰し現在に至る。「長年働けてい るのは柔軟な働き方に対応してくれたおかげ」と感謝し、社員たちの働き方の相談に も応じている。「若手社員が増え、今後のヨナゴ技研が楽しみ」と話し、次世代のた めにも地域への情報発信に力を入れたい考えだ。

217 216